



玉工通信

第9号

〒 311-3501茨城県行方市芹沢1552
TEL 0299-55-0138 FAX 0299-55-3454
<http://www.tamatsukuri-th.ibk.ed.jp>



たまこう行事予定

9月27(金)AM授業・終業式
9月29(日)～30(月)学期末休業日
10月 1(火)始業式
10月 3(木)創立記念日
10月 6(日)～3泊4日 2年修学旅行(沖縄)
10月22(火)中間考査日程発表

要旨(抜粋) 9月2日(開講式)進路指導部長講話

●令和6年度の求人について

- ・就職求人件数→昨年度、955件。今年度今日現在、1046件で県外を含めると2342件
- ・進学指定校推薦数→大学・専門学校を合わせて、約170校
- 三年生へ(1・2年生も来年、再来年の話です。よく聞いてください！)

○就職希望生徒

- ・履歴書の作成は予想より大変だった？ 校内選考＝内定ではありません。勘違いする生徒が毎年います。昨年度、1回目不合格の生徒は、「何とかなるだろう」「どうせ受かるだろう」という考えで受験し失敗。
- ・求人票に記載されている求人数は、玉工から採用する人数ではない。
- ・高校生の採用試験は、全国一斉に9月16日(月)敬老の日からスタート。
- 一番早い生徒で、受験まで2週間。できる準備をしっかりとってもらいたい。
- ・アルバイトの面接ではない。自分の言葉に気持ち、熱意を言葉に込める。言葉遣いには注意。

○進学希望生徒

- ・学校や入試方法によって、出願期間や必要書類、提出方法が違う。書類の取り寄せや書類の発送などは、自分でやることになるが、事前に必ず担任と相談し、記入ミスや書類の不備がないように。また、大切を守って出願するように。
- ・AO入試には、複数回受験の学校もある。一回目を受験するように。

○就職、進学どちらにも言えること

自分の進路です。他人にやってもらう、指示されるのを待っているのではなく、自分でやること。自分のことにもかかわらず、他人事だった人がいるようです。ありません。

●1・2年生へ

- ・2年生の就職希望者は、求人票を見えること。進学希望者は、長期休みや土日に行われるオープンキャンパスや説明会に参加するなど、そろそろ卒業後のことを考えた情報を集めること。
- ・心掛けておくこと→①成績②欠席日数③「頑張ったと言えること」をすること。これらのことを、すべて3年になってから意識しても遅い。企業はボランティア団体ではありません。企業はできない生徒を採用しない。有名企業ほど、皆さんに求める能力は高くなります。高い目標をもち、そのための努力をする。
- ・進学希望者も推薦で進学するのであれば、基準を満たしていなければだめです。
- 誰でも希望通りの進路に進めるわけではない。

・1年生の皆さんには、夏休み前にhandy進路指導室の招待メールを教育情報ネットワークの皆さんのアドレスに送りました。すでにHR等で登録作業をしてもらったと思います。登録が終わっていない生徒は担任に申し出てください。

※メールには期限があるため、夏休み前のメールからでは登録できません。



9月16日から就職試験開始

3年 外部講師による面接練習 (8月19日)クラスごと

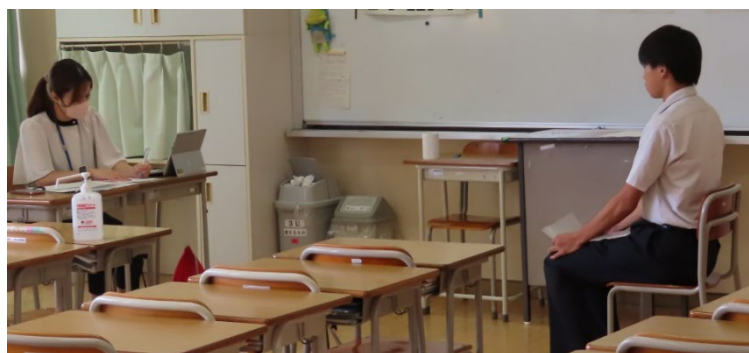
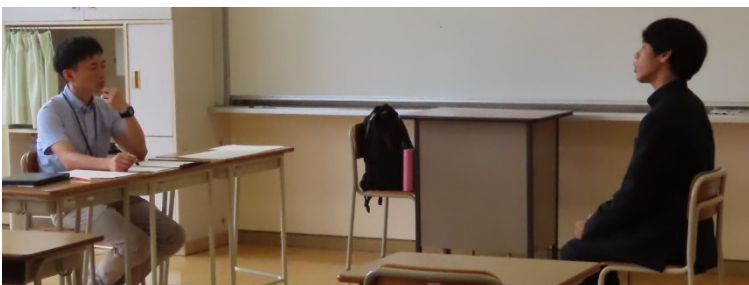




9月13日(金)に生徒会役員選挙が行われ、
役職が決まりました

10月1日(生徒会役員認証式)

3年 外部講師による面接練習
(8月28日・29日)個人



令和6年度 生徒会役員

任期 令和6年10月1日～
令和7年9月30日

会長	2B	小沢 瑚々奈
副会長	2A	田口 拓
書記	1A	櫻井 景斗
	1B	大山 皐
会計	2A	折笠 愛未
	1B	上代 健正
監事	2A	森 圭吾
	2B	森 奎悟

新生徒会役員と校長先生、教頭先生





生徒の皆さん、こんにちは。
本日で、前期が終了することになりますが皆さんはこの前期をどのように過ごしたでしょうか。
1年生は入学し、慣れない高校生活で、戸惑うこともあったかもしれません。
2年生は、進級し専門的な授業実習が始まり、資格試験への挑戦や卒業後の自分について考え始めたのではないのでしょうか。
3年生は、進路活動が本番を迎え、緊張が高まる中、就職試験や入学試験にチャレンジしました。まだ、結果がわからない人もいますが、最後まであきらめずにチャレンジしてもらいたいと思います。

ここで、皆さんが理解しておかなければならないことは、それぞれの学年の時に、それぞれやらないとならないことがあるということです。「後でやればいい」と先延ばしにしまうと、結局やらないことになって、後で後悔することになります。今、皆さんが取り組むべきことはたくさんあると思います。例えば、欠席しないことや、勉強や部活動、資格試験などに一生懸命に取り組むことなどです。それをよく理解し、一つ一つ努力を重ねておくことが、高校生活での身につけた大きなものになりますので、目標をもって、しっかりとやってみてください。皆さん一人ひとりが、後期に向け、何に、どのように取り組んでいくか考えてみて下さい。

さて、最近では円安や物価高、人口減や国力の低下等という、あまり明るくない話題が新聞などに多く掲載されていますが、皆さんはこれに対峙して、生きていかなければなりません。インバウンドで、多くの外国人訪れているわけではなく、日本は島国であり、外国と直接地面がつながっているわけではないために、他国を強く感じることはありません。また、日本はある程度豊かな国であり、皆さんも食べるものに困ったり、生活が極端に苦しいと言うことはないと思います。

9月27日(金)終業式

しかし、30年前と比較すると日本はかなり貧乏な国になったと思います。30年くらい前には日本の円は1\$ 80円位でした。世界の長者番付に日本人が何人も名を連ね、日本の多くの企業が時価総額で今のアップルやグーグルのように世界ランキングの上位にあるような状況でした。しかし、現在は他国に大きく差を付けられ、日本は大変厳しい状況にあります。

このまま、日本が衰退していくと、私たちの生活はもっともっと厳しいものとなり、食べ物が買えなくなったり、現在当たり前にある学校などの様々なサービスが受けられなくなってしまう可能性があります。そのような状況を回避し、日本の国力を回復させていくためには、貿易を活発にし、外貨を稼いでいくことが重要となります。つまり、良いものをたくさんつくって海外と貿易を行うことが私たちの豊かな生活につながっていくことにつながります。

これからの時代は、変化が激しく、予測が困難な時代と言われています。変化が激しいというのはインターネットなどの発達により、世界中の情報が瞬時に伝わることで、新しいものがつぎつぎ開発されたりすることで、企業間の競争が激化していくことです。これによって、企業では優秀な人材が必要となり、専門性の高い人材が求められます。

ところで、皆さんはこのような格言をご存知でしょうか。「かごにのる人、かつぐ人、そのまたわらじをつくる人」

この格言が示すとおり、様々な人が社会を形成しています。例えばこのかごの関係者が集まって国際レースをしたとします。さて、どのような国が勝つと思いますか。……

当たり前のことですが、かごを乗りこなす高度な技術、かごを担ぐ高度な技術・体力、わらじをつくる高度な技術を持った人材のいる国です。

このことからわかるように、現在の社会は競争が激化した状態ですから、それぞれのスペシャリストが必要な時代なわけです。国籍や学歴ではなくその企業が必要とする専門性の高い人材が重要となってきます。



学校長講話

本校が、多くの企業から期待されている理由はこういった所にあります。

ということではありますが、皆さんはどんなスペシャリストでしょうか。…現時点ではまだスペシャリストではないですね。でも、みなさんはこの先スペシャリストになる可能性が十分にある人材です。

なぜならば、皆さんは本校で工業の基礎基本的な知識技術を身に付けていますが、まだ成長途中にあります。卒業後、さらに成長して一人前になるまでには、まだ数年の期間があります。入社後の数年間で企業は皆さんをとっても高いスキルを持ったスペシャリストに育てていけるわけです。

今皆さんは何をすべきかについては先程お話しした通り、後回しにしないで、今やらないとならないことに取り組むことですが、それに加えることとして、是非何か一つでも誰にも負けないような得意なことを身につけてもらいたいと思います。

最後に一つ、昨日の新聞の社説を読んで終わりにしたいと思います。

「これは負けない」と言える自分に 大学生21歳
兄は高校生の時、学校から帰ると宿題もせず、バイクの整備をして友達と出かけていくことがあった。夜遅く帰ってきてはガレージで大きな音を立て、家族が目を覚ましてしまうこともあった。ある日、両親と高校野球のニュースを見ていると、兄がまた遅くに帰ってきた。ふと母が「同い年の子達が頑張っているよ。甲子園に出るなんてすごいよね」というと兄は「確かに俺は甲子園には出られない。けど、甲子園球児にはエンジンはばらせねえよ」と言った。家族全員が意表を突かれ、その堂々たる発言に笑ってしまった。誰にも負けないものがあると思える兄をうらやましく思った。大学生になり、他人と自分を比べてしまう時、兄の言葉を思い出す。立派に見える人にも引け目を感じることなく、「これだけは負けねえ」と言える自分になりたい。というものです。皆さんが今何をすべきか考えるときの参考になればと思います。

以上で終業式のあいさつを終わりにします。

生徒会長 前期 終業式あいさつ



皆さんこんにちは。生徒会長の長谷川将紀です。
今日で前期が終わります。

1年生は、入学してから約半年ほど経ちましたが、
高校生活には慣れましたか？

勉強に部活動・資格取得など沢山のことにチャレンジしていると思います。

2年生は来年の進路について考えているでしょうか？

1年後だから大丈夫だと思わずに今のうちから考えておきましょう。

3年生はすでに就職試験が終わり、内定をもらって安心している人やまだ
試験が終わってなくて不安な人もいますが、最後まで気を抜か
ずに頑張ってください。

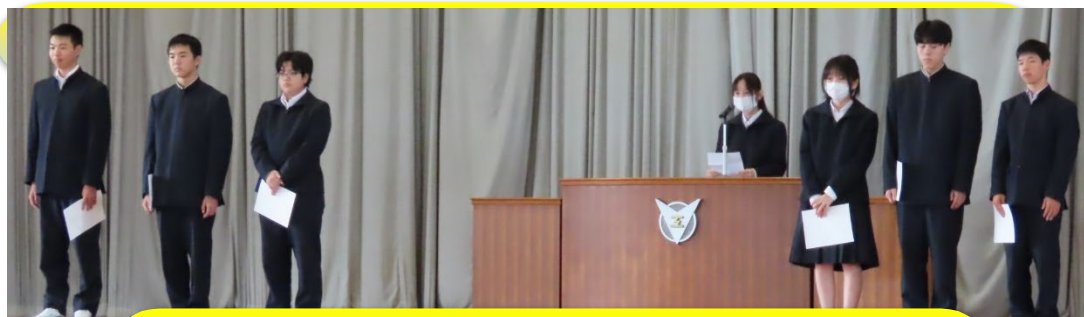
また、今月をもって現生徒会役員の任期は終了になります。
来月からは、2年B組の小沢湖々奈(おざわここな)新生徒会長をはじめと
する1年生が加わった新生徒会役員8名で生徒会活動を行っていきますの
で、今まで同様、生徒会活動へのご協力をお願い申し上げます。

1年間、ご協力ありがとうございました。

以上で前期終業式の挨拶とさせていただきます。

9月27日(金) 表彰式

- 春の高校バレー第77回全日本バレーボール高等学校選手権大会
茨城県東地区予選会 第2位 代表 堀江 拓真
- 令和6年度 第23回 関東甲信越地区電気教育研究会
電気工事コンテスト 準優勝 胡 鵬
- 令和6年度 第23回 関東甲信越地区電気教育研究会
電気工事コンテスト 優勝 長峯 璃久
- 第19回 若年者ものづくり競技大会
電気工事部門 金賞/厚生労働大臣賞 長峯 璃久



新生徒会長 後期 始業式あいさつ

皆さんこんにちは。

私は、新生徒会長に任命された小沢 瑚々奈です。

今日から約1年間、新生徒会に任命された1・2年生計8名が手を取り合い、この学
校全体を良いものにしていこうと、生徒の皆さんがより良い環境を過ごせるように尽
力していくことを約束します。

1年生の皆さんは、学科選択が終わり、各学科に進むための勉強を行っていくと思
います。自身の選んだ学科で未来をどのように過ごしていくのか、2年生になる前に
一度考えてみるというのも良いと思います。皆さんそれぞれに得意な科目、好きな科
目があると思いますが、少しずつ苦手な科目を伸ばしていくことも大切です。自身に
負担が掛かり過ぎないように調整を行いながら穏やかな学校生活を送って下さい。

2年生の皆さんは、今週から修学旅行に入りますね。

皆さんの行く沖縄には数多くの名産品や観光スポットなど楽しめる場所がありま
すが、今回皆さんには民泊体験という沖縄の文化や歴史を身近に学ぶことのできる貴
重な機会があります。現地で感じることでできる雰囲気や事柄など、多種多様なこ
とを身をもって体感する事ができる時間を大切にしてください。初めての事も多いでし
ょうが、事前準備をしっかりとして修学旅行までの残りの数日間を過ごして下さい。

3年生の皆さんは、就職活動が終わった人、そうでない人、希望している大学に行
くために勉強を行っている人、様々だと思います。これから就職活動に向かう人は自
分の思いを最大限伝えて伝えてきて下さい。大学受験をする人は、これまで多くの
時間を勉強に費やしてきたと思いますが、勉強を詰めすぎずに息抜きをしながら受
験に備えて下さい。就職活動が終わった人は一つの大きな壁を乗り越えたと思いま
す。気を抜かず落ち着いた学校生活を送って下さい。1・2・3年生それぞれ行う
ことは様々だと思いますが、落ち着いた学校生活を過ごして下さい。私自身、この学
校の為、在学する皆さんの為になれることを精一杯行っていくしますので、私たち新
生徒会へのご期待の程よろしくお願い致します。

